

こしかわ りゅうじ  
越川 竜二さん (南並木)



委員長を務めました。20歳になり、10代とは違い周りへの接し方を慎重に行うようになりました。行動に責任を持つことは当たり前ですが、どう動くか、どのようにすればうまくいくのかを考えなければなりません。そして、その行動は周囲の人が見えています。良いことや悪いこと、すべてを見てその人の印象が決まると思います。責任を持つことは簡単なことではありませんが、一つ一つの目標を達成し、成長していきたいです。

なかじま ゆうき  
中嶋 勇綺さん (本町)



学校や仕事などで、実行委員全員で集まる時間をなかなか取ることができませんでしたが、このような中でも、こまめに連絡を取り合い、打ち合わせを重ね準備を進めてきました。当日は、教育委員会をはじめ、たくさんの方々の協力のおかげで素晴らしい式典を行う事ができました。これからは、成人として自分の行動に責任を持ち、感謝の気持ちを忘れず、協調性ある大人になれるよう頑張ります。

実行委員の皆さんに、  
成人式を振り返って  
感想を伺いました。

みやざわ ゆか  
宮澤 優花さん (宮)



少しでも思い出になればと、平山さんと一緒に役員に立候補しました。役員の仕事はとても多く、みんなで集まれる回数が少なかった分、大変でした。当日は、クラスのみんと事務局の方を中心に、地域の皆様の支えや協力もあり盛大な式を行う事ができたと思います。そして、いつも素直になれなくて迷惑をかけてばかりの私を支え、育ててくれた家族に感謝しています。これから先はまだ分かりませんが、いろいろな事に挑戦していきたいです。

ひらやま なつみ  
平山 菜都美さん (東谷)



実行委員の仕事は、内容も分からないところからのスタートでしたが、本当にやって良かったです。懐かしい友人やお世話になった先生との再会が嬉しく、ずっと笑顔でいられました。この日を迎えられるのも当たり前ではなく、さまざまな人の支えがあったからだ実感しました。見守ってくれる家族、相談のつてくれて一緒に大笑いしてくれる友人。みんながいてくれたから頑張れました。すべての人に感謝して、自分らしく生きていきます。

「ありがとう。」  
そして、これからも  
よろしく……」



# 輝かしい未来へ 翔け 新成人!

1月8日、コミュニティプラザ文化ホールで成人の日記念式典が開かれ、華やかな振り袖や袴、スーツ姿に身を包んだ145名の新成人が参加しました。中学時代の友達や恩師らとともに二十歳の門出を祝い、大人への一步を踏み出しました。

新成人代表  
あいさつ  
越川 竜二さん



二十歳を迎え、職業に従事している人や学業に励んでいる人など立場はさまざまですが、一人ひとりが自分の行動に責任を持ち、社会の一員として常に向上心を持って前進する覚悟でいます。そして、後輩たちの見本となるような社会人を目指していきます。

生まれ、育ち、遊び、学んだ「多古町」をさらに魅力ある町にすること、後世に引き継いでいくことが私たちの使命だと思っています。それと同時に生きる力を養い、一人の人間として日々成長し、個々の夢や目標を叶えていけるような自己実現のある力を持った人間になりたいです。

今日、私たちが笑顔で成人式を迎えることができたのも支えてくれた家族、教え導いてくれた先生方、成長を温かく見守ってくれた地域の方々、そして何よりも共に歩んできた仲間のおかげです。この感謝の気持ちと多古町で生まれ育った誇り、そして成人としての決意を心に刻み、これからは歩んでいくことを誓います。



## 二十歳の言葉

いいた せいや  
飯田 誠也さん (南並木)

自分の前向きな精神が人生をより輝かせ、世の中をより元気にしていけると思っています。日本は決して暗くなんかなく、希望・未来・生きがいのある時代にしていきたいです。若くして亡くなった同窓生の方まで、そして、今日という日まで育ててくれた家族、出会えたみんなに感謝しながら「大人」として21世紀を生きたいです。

とむら ゆりさん (島)  
戸村 優里さん

私は、トリマーになるため専門学校へ通い、さまざまなことを学んでいます。20年という節目を迎え、振り返ってみると、たくさんの方にお世話になりました。その中でも、両親にはとても感謝しています。これからは、社会人としての自覚を持ち、今までお世話になった方や友人、そして両親に恩返しができるように日々精進していきたいです。

なかじま ゆうき  
中嶋 勇綺さん (本町)

この20年間、母をはじめ大切な家族の深愛で育ってきました。この深愛は私だけのものではない、一番の誇りです。この先結婚し家庭ができたら、母のような親になりたいです。完璧じゃなくてもいい、不器用でもいい。それでも家族に愛を注いであげられる、そんな親でありたいです。じいちゃん、ばあちゃん、父さん、母さん、愛しています。ありがとう。

しだ わかな  
信太 若菜さん (谷津)

私は診療情報管理士を目指し、大学に通っています。育ててくれた家族や支えてくれた友達がいれば、困難を乗り越えることができました。これからは、今まで以上にいろいろな壁が立ち上がるかもしれないですが、一つずつ乗り越えていき強くなりたいです。また、常に感謝の気持ちを忘れず、人の役に立ち、誰かに必要とされる人になりたいです。

こきた なおや  
五木田 尚也さん (水戸)

私は大学で、大学野球と教員になるための勉強をしています。大学進学と野球を続けることを許可してくれた母と祖母に感謝の気持ちを伝えさせてください。ここまで育ててくれて本当にありがとうございます。これからも迷惑かけると思うけど、一人前の大人になれるように日々精進します。これからもご指導よろしくお願ひします。



右から飯田さん、戸村さん、中嶋さん、  
信太さん、五木田さん